

⑥ 「日本人がすぐに謝るのはズルいだけか」①

「一段落目」日本人はすぐに謝るのか。そうだとすると、それはズルいことなのか。

(例)

以前、国語の説明文で、「世界では日本人のように簡単に謝ることはない。謝罪すれば自分の責任を認め、後で大きな賠償を払わせられることになるので、責任を負わされることがないよう、なかなか自分の非を認めようとしがないのが一般的だ。」といった内容が書いてあるのを読んだことがあります。また、日本人がすぐに謝るのは、本当に謝罪する気持ちがあるからではなく、とりあえず謝っておけばその場を丸く収められるからとか、謝った人間にそれ以上の責任を追及する人は逆に人間としてひどい奴だと世間に思われることが分かっているからとか、そういう打算的な理由があるせいだと聞いたこともあります。これらの話、実際のところはどのようなでしょう。

「二段落目」考えを比較しながら、自分の意見を提示する

(例)

確かに、自分が責任を負わないようにするため、謝罪しないで言い訳ばかりしている人は人間としてどうかと思います。アメリカなどでは、「アイムソーリー」と言ってしまうと裁判になった時に負けてしまうと聞いたことがあります。だからと言って、悪いことをしても謝らないというのは、なんだかいやな文化に思えます。しかし、何でもかんでも謝ればいいというものでもないと思います。「ゴメンで済めば警察はいらない」なんてことを言ったりもしますが、僕たち日本人は毎日「ゴメン」や「すいません」を連発しています。そこには、心なんてこもっていないことの方が多い気がします。

「三段落目」具体的な例や体験を挙げながら、意見を展開する

(例)

日本には、いろんな「すいません」があります。他人の足を踏んだときに「あ、すいません」。誰かに贈り物をもらった時に「どうも、すいません」。ラーメン屋さんで注文するときに「すいませーん」。色々ありますが、元々の意味は、迷惑をかけてしまった相手に対して「このままでは済ませません。必ず埋め合わせを致します。」ということだと思えます。なのに、僕たちはとても気軽に「すいません」といい、悪いことをしても「すみません」と言えば、それだけでは「済まない」ではなく、それで「済む」と思いがちです。何か迷惑をかけるようなことをして、本当に悪いと思う「すいません」と言っただとしても、相手がそれで許してくれなかったら、「何で謝ってるのに許さないんだよ」と、逆ギレしがちです。僕も、学校や塾で宿題を忘れたら、「スイマセン、宿題忘れしました」と言うだけで済ませようとします。

「四段落目」結論・まとめ

(例)

「済みません」で済ませてしまうのなら、謝らずに一生懸命言い訳を考えるアメリカ人の方が、日本人よりいさぎよい気もします。謝る以上、責任は全て背負い、起こしてしまった事態の代償を自分で払う。そうでなければ、「済みません」にはなっていないと思います。